

# English Essay Contest

関西学院大学×読売新聞×ジャパン・ニュース

## 「第5回 高校生英語エッセーコンテスト」

受賞作品  
決まる



～考えてみよう。世界のこと、日本のこと～

「考えてみよう。世界のこと、日本のこと」をテーマに、高校生を対象にした「第5回 高校生英語エッセーコンテスト」が開催された。5回目となる今回は、一般部門に902作品、海外での在学経験が1年以上ある人を対象にした海外経験部門に70作品が寄せられた。

11月6日に実施した最終審査会では、活発に意見と感想が交わされ、受賞作11作品が選出された。受賞作品のうち、一般部門最優秀賞の作品の全文を和訳付きで紹介する。

受賞作品

一般部門

最優秀賞

Going Green

西村ひかりさん(岩田高等学校2年)

優秀賞

Thinking about international cooperation from cheerleading

根田きなりさん(富士見高等学校1年)

The things three doctors told me

大川秋晴さん(福岡県立筑紫丘高等学校2年)

Clean water From the Faucet

高橋美帆さん(鎌倉女学院高等学校1年)

努力賞

Smile in the world

熊澤綾美さん(北海道旭川南高等学校2年)

Japanese culture & American culture

中島未央さん(富士見高等学校1年)

A Chain of Smile

山田千尋さん(岐阜県立岐阜商業高等学校2年)

About Our Pets

岸穂野花さん(関西外語専門学校2年)

Different language, but same feeling

鈴木麻璃奈さん(鎌倉女学院高等学校1年)

海外経験部門

最優秀賞

Words from my grandmother

定方もさん(静岡県立浜松北高等学校2年)

優秀賞

Chin up, Chest up ; Proud to be Japanese

森嶋かりんさん(AICJ高等学校2年)

※受賞作品は、学校名を伏せた厳正な審査のもとで決定いたしました。

※受賞作品を下記ホームページに掲載しています。

厳正な審査を行う審査員



### ■最優秀賞受賞作品

## Going Green

西村 ひかりさん (岩田高等学校 2年)

“I hate living in the countryside.” For a long time I felt this way about my hometown. I’m from Oita Prefecture, which is not very famous in Japan. We don’t have any big theme parks or shopping centers, and I thought that life would be much more exciting if I lived in a big city like Tokyo, Osaka or Fukuoka.

We often hear that Oita is blessed with a lot of nature and beautiful

scenery, but I used to think that the only reason we were “blessed” with so much nature was because we hadn’t built anything exciting yet.

I couldn’t appreciate my home prefecture until one day when I read a newspaper article about “green tourism” that helped change my mind. Through green tourism, people who live in the city are encouraged to spend a few days experiencing nature by doing

things such as trekking in the mountains or gathering shellfish along the coast.

I had my first experience with green tourism when my family visited the small town of Ajimu. We stayed at a local tourist home and had the chance to try farming and learn about life in a traditional agricultural village. It was heartwarming to meet the local people because they were so friendly to us. We had a good time there, and I now think that the countryside can be a fascinating place.

Recently, green tourism is becoming popular in Japan among foreigners as well as Japanese people. I think that this is very good and we should work to spread this

custom around the world. Not only is it educational and fun, but it also boosts the economy in rural areas while helping to protect the environment. I am proud to live in Oita Prefecture with its nature and traditional culture, and if anyone asks me what to do during summer vacation, I have this recommendation:

Head for the mountains and take a “peak.”

Then down to the river which has a “mouth” but does not speak. And if the river has been “cool.”

Remember safety first is the rule. Then take a tour of deep, dark caves,

Or visit the friendly ocean which always “waves.”

訳)

## Going Green

「田舎暮らしなんか、まっぴら」。自分故郷について長い間そう思ってきました。私の住んでいる大分県は、日本で有名県では決してありません。大きな遊園地ショッピングセンターがあるわけではあません。もし東京や大阪、福岡などの大きな都市に住むことができたなら、どんなエキサイティングな日々を送れることか思っていました。

大分は大自然と美しい景観に恵まれてい、とよく言われます。でも「恵まれてい」というのは逆に言えば、他にエキサイティングなものをつくり上げてこなかったらだと思っていました。

ある日まで私は、自分の県を正しく認め

ることができませんでした。新聞に「グリーンツーリズム」に関する心動かされる記事を見つけた日までです。グリーンツーリズムとは、都会に住む人に、山を歩いたり、海岸で貝を集めたりといった活動を通じて、数日にわたり自然を体験してもらおうというものです。

私の初めてのグリーンツーリズム体験は、家族といっしょに安心院町を訪れたときです。地元の民宿に泊まって、農作業に挑戦し伝統的な農村について学びました。地元の人たちはみな優しく心が温まりました。本当に楽しいときを過ごすことが出来て、それ以来、地方も魅力的な場所になりうると思うようになりました。

最近、日本のグリーンツーリズムは、日本人にだけでなく外国人にも人気が出てきています。これは本当に良いことで、もっとグリーンツーリズムが世界中に広がればと思います。教育的で楽しいだけでなく、

地方経済の活性化につながり、同時に環境保護にもつながります。自然と伝統文化にあふれた大分県に住んでいることを誇りに思います。もし誰かが私に、夏休み何をしたらいいかと尋ねてきたら、次のことを勧めます。

山に向かい、頂上からながめてごらん

そして川へ行こう、その口は話さないけれど  
もし川が冷たかったら  
安全第一で  
深くて暗い洞穴を目指そう、  
それとも手を振るように波立つ優しい海へ行こう

### \* 喜びの声



### ふるさとの魅力伝えたい

このような素晴らしい賞をいただき大変光栄です。以前は、大分県は田舎で何にもないところだと思いで都会にあこがれていました。今はそれこそが大分の魅力であると実感しています。このエッセーにより大分県の豊富な自然、人々、おもてなしの精神を多くの人に伝えたいです。これからも英語力を磨き、大好きな大分県の良さを海外にも発信していきたいです。

### 審査講評

関西学院院長  
ルース・M・グルーベル



### 未来に希望を持った

一般部門で最優秀賞に選ばれた「Going Green」は、自分の故郷を面白く思っていなかった筆者が、故郷の自然や伝統文化をより多くの人に知ってもらいたいという考えに変わったというもので、内容も構成も良く、冒頭から結末まで惹きつけられました。ユニークなものを含め、高校生の様々な内容のエッセーを読み、未来に大きな希望を持ちました。応募して下さった皆さまと、指導された先生方に感謝いたします。

### 団体応募校一覧 <全64校、順不同>

北海道旭川南高等学校  
札幌第一高等学校  
仙台白百合学園高等学校  
山形県立米沢興譲館高等学校  
福島県立磐城高等学校  
富士見高等学校  
芝浦工業大学高等学校

中央大学高等学校  
下北沢成徳高等学校  
東京都立立川高等学校  
関東国際高等学校  
頌栄女子学院高等学校  
鎌倉女学院高等学校  
千葉県立長生高等学校

静岡県立浜松北高等学校  
静岡県立葦山高等学校  
長野県長野高等学校  
長野県長野西高等学校  
岐阜県立岐阜商業高等学校  
茗溪学園高等学校  
石川県立七尾高等学校  
仁愛女子高等学校  
愛知県立岡崎西高等学校  
愛知県立明和高等学校

愛知県立西尾高等学校  
聖ピタニオ女子高等学校  
京都市立西京高等学校  
京都市立堀川高等学校  
京都府立北稜高等学校  
関西外語専門学校国際高等課程  
清教学園高等学校  
大阪教育大学附属高等学校平野校舎  
大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎  
大阪府立大手前高等学校

城南学園高等学校  
聖母被昇天学院高等学校  
滋賀県立米原高等学校  
東大寺学園高等学校  
神戸国際高等学校  
親和女子高等学校  
兵庫県立姫路西高等学校  
兵庫県立加古川東高等学校  
神戸市立葺合高等学校  
兵庫県立明石西高等学校

兵庫県立大学付属高等学校  
神戸大学附属中等教育学校  
兵庫県立尼崎小田高等学校  
兵庫県立芦屋国際中等教育学校  
和歌山県立神島高等学校  
和歌山県立那賀高等学校  
岡山県立玉島高等学校  
広島県立福山明王台高等学校  
広島学院高等学校  
広島女学院高等学校

鳥取県立倉吉東高等学校  
愛媛県立松山東高等学校  
愛媛県立今治西高等学校  
香川県立高松桜井高等学校  
長崎南山高等学校  
岩田高等学校  
福岡県立城南高等学校  
福岡県立筑紫丘高等学校  
福岡県立北筑高等学校  
上海日本人学校高等部

企画・制作  
読売新聞社広告局